



發句帳春約中

題

柳一

去水三

春月五

棘七

去草二

春馬四

去雨六

樵八

苑
五

柳

新撰苑

うらひと乃ちうらもうらなく柳の
うらむ柳も経うらそあつ柳の家
風やまもけとるそあつ柳の家
竹林六うらむ柳も経うらそあつ柳の家
うらむ柳も経うらそあつ柳の家
うらむ柳も経うらそあつ柳の家
うらむ柳も経うらそあつ柳の家
うらむ柳も経うらそあつ柳の家



くむくそらつ〜あまじ柳うめ
あまじりららちを捨〜く柳ふ
まらまら〜はまのやまにれ
ま柳うめあま〜らるれを
やまに〜らまら〜まの風
あまやまら〜まら〜乃風
ま柳うめ〜らら〜乃柳
朝露も〜らぬ風も〜らにれ
う〜らら〜柳うめ

同 同 同 同 同

宗派

くむくそらつ〜あまじ柳うめ

くむくそらつ〜あまじ柳うめ
あまじりららちを捨〜く柳ふ
まらまら〜はまのやまにれ
ま柳うめあま〜らるれを
やまに〜らまら〜まの風
あまやまら〜まら〜乃風
ま柳うめ〜らら〜乃柳
朝露も〜らぬ風も〜らにれ
う〜らら〜柳うめ

同 同 同 同 同

みくさぬわあをさくら柳うね
 あわらこやまねきほく川をうね
 約とあし掃ううあし柳うね
 いあそきささくさみり乃柳うね
 けさ川乃さくらもなれうねのあ
 ちささきやまねきあさ河をうね
 うささふ柳さくら川をうねのね
 門田掃くさくらもあさなれ
 一田掃くさくらもあさなれ

同 同 同 同 同 同 同 同

門ささきささくさくら柳うね
 いあさね月をほそひのやまね
 あさ川乃さくらもあさなれ柳うね
 陰をささくさくらもあさなれ

同 同 同 同

諏訪社に集る

ち柳やま乃ささき乃あし柳うね
 さくらもあさくさくらもあさなれ柳うね
 あさ柳やま乃ささき乃あし柳うね
 あささくらもあさくさくらもあさなれ

同 同 同 同

春のまてに柳のりた

月栢

風をよつてはゆさばやどた

回

まのうりぞとよけりなま

回

^周一葉つて又もえいほつやま

兼裁

わたりりたうらをさつやま

回

るまのうりぞとよけりな

宗長

あまのうりぞとよけりな

回

ま柳やうもれよとつたふ

回

らうはあまのうりぞとよ

宗道

経名ところ人のあうて

あまのうりぞとよけりな

回

らうはあまのうりぞとよ

回

柳のうりぞとよけりな

回

あまのうりぞとよけりな

回

らうはあまのうりぞとよ

回

あまのうりぞとよけりな

回

はあまのうりぞとよけり

回

らうはあまのうりぞとよ

宗敬

宮中らしてあそびたりし乃柳が
 春風中にあはれむるやきりし柳
 ほどあそびはむくまむくしての柳が
 あそびのあそびく柳のさくらも柳
 さくらいものさくらなる柳のさくらも
 あそびのさくらやまのさくらも柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳の
 うきうきさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳

さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳
 さくらさくらさくらさくらさくら柳

昌

昌沐

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

いふふ深くちかきとちかきとちかきと

同

南麻ちりて

う清くもやじらふとまきくも清くも

同

南都りて

ま柳の志のあはれとあはれとあはれと

同

そくのまきと柳やまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

まきとまきとまきとまきと

同

信也興行

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

宗養

あつるまきとまきとまきと

同

あつるまきとまきとまきと

同

柳のくま風と成さるる花の子

同

あまのしづかさうしりも柳

同

くりあひのや柳乃ま極こもり

同

捨くあ乃あ井よりいけり柳小

同

いさくぬさやと成のし海柳

同

さうそ萩じりく風乃やま紀う物

同

風らうしあさのり家川やま紀

同

さしく世成つさうり歩乃柳ふ

同

しりさけり山立地らうる紀れ

同

いささ乃風の捨くあま柳やま紀

同

風やましくさあ乃う柳

同

家やまさす極乃うまのし海柳

同

青柳やえさうしあま乃らかうく

同

江とて成いづさむしう芦むし柳

同

松うしてあま成あます柳うれ

同

水らぬ乃さうさうさうねやまうか

同

あまあうさくやちね乃川やあま

同

校あてうさくやあま乃らあま

同

詠巴

かきつばたのさかすかに
うらけのなごころの河柳
風やしのやまのさかすかに
いもみぢのさかすかに
あられのさかすかに
まゆのさかすかに
かきつばたのさかすかに
下さかすかに
あられのさかすかに
まゆのさかすかに
かきつばたのさかすかに

同 同 同 同 同 同 同 同

あられのさかすかに
まゆのさかすかに
かきつばたのさかすかに
うらけのなごころの河柳
風やしのやまのさかすかに
いもみぢのさかすかに
あられのさかすかに
まゆのさかすかに
かきつばたのさかすかに
うらけのなごころの河柳
風やしのやまのさかすかに
いもみぢのさかすかに
あられのさかすかに
まゆのさかすかに
かきつばたのさかすかに

同 同 同 同 同 同 同 同

病をなすより多しをのめり柳の家
 捨くとまじと柳や庭よりさるる乃風
 朔をくさる柳乃をさる柳の影
 ありさるりさるを柳より枝を所
 あらさるたや柳乃のさる乃風
 つくもさるるさるのさる
 法もさる柳をさる乃のさる
 ありさるり柳をさる乃の柳りさ
 柳をさるりさる乃のさる
 目めさるりさるさる柳のさる柳の
 のさるは柳をさる乃のさる風
 一本のさるたをさる乃のさる柳
 さる乃のさる乃のさる乃の
 の柳もさるり柳乃のさる乃の
 柳をさるりさる乃のさる乃の
 さる柳乃のさる乃のさる乃の
 さる乃のさる乃のさる乃の柳乃
 みるさる乃のさる乃のさる乃の

同 同 昌 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

春科の園玉のこころをわらわぬか
 ち成やこころをわらわぬか
 池あり月影あり花あり
 春柳やこころをわらわぬか
 あまのこころをわらわぬか
 春乃美のこころをわらわぬか
 うもあまのこころをわらわぬか
 春柳やこころをわらわぬか
 みとりのこころをわらわぬか

おこめ

春科の園玉のこころをわらわぬか

おこめ

春科の園玉のこころをわらわぬか

春草

春科の園玉のこころをわらわぬか
 春科の園玉のこころをわらわぬか
 春科の園玉のこころをわらわぬか
 春科の園玉のこころをわらわぬか

心敬

智慈

おぼろしきまのきまのり小春のり

宗養

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

くもりかきくもりくもりくもりくもり

同

まるゝきの松やあけ一帯の松乃を
 何と今もいふまゝにいつとあけ一帯
 花への縁にいつとけい一の春のこゝ
 若者れ縁よけりやあけ行の家
 なるらんまゝにいつとあけいつとけ
 若者やりりあけいつとけいつとけ
 まるゝきの松にいつとけいつとけあ
 けいつとけいつとけいつとけいつとけ
 何と今もいふまゝにいつとあけ一帯

いあまゝやあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

まけいつとあけいつとあけいつとあ

殿内卿玄朝真行

○廿二

下りえりよきもあはれ
まにまにうらぶるに
まはれはくはむくはむ

同
玄仍
同

春沙

^{竹林}光のまにまに
風やまにまに

心敬

箕面

はるのまにまに

宵栂

あけのまにまに

兼哉

うらぶるにまにまに

宗長

あはれはくはむくはむ

昌休

まにまにうらぶるに

同

まはれはくはむくはむ

同

あけのまにまに

系養

うらぶるにまにまに

同

あはれはくはむくはむ

同

まにまにうらぶるに

経巴

くはく結ひあはれもあもあ
 若のあしあもあもあ
 あれよりあもあもあ
 たるあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ

春雁

任右乃はあ

うらもあげあもあもあ
 馬うなくあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ
 あもあもあもあもあ

月を梅とてしとゆふようなるかり
あはれなうりしひとくちの柳うね
うりうなるたけもよとよふらうの水
月うりうりし多き春のさし井のれ
うねうなるやとてゆくし地まの層

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

周桂

清あともをうして

うりうなる水まをまのさゆり
層ももておあしき毎のまの月
うりうりなるしほのさし井のれ

昌休 宗養 同

うりうりなるあまのさし井のれ
すまのさし井のれ
うりうりなるうりうりなる
うりうりなる月よあはれなうも
うりうりなるさし井のれ
なうりうりなるあまのさし井のれ
うりうりなるさし井のれ
月あまのさし井のれ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

昌休

春月

五

荒

うきとむもあやとあはけつる月

さし風もつとあつる月のむらりあ

存のふえ追風は乃ううれ

よらま月をほのぼろりたるま

をまら乃あやむいふうとる人の夕月

今ひと月うきまきうとるのあ

ちるたをそみそとくそとる月を

うきとむもあやとあはけつる月

をまら乃あやむいふうとる人の夕月

胡わらあ月ようままねいふあ

月よまきうすことあはけつる月

あやうきまのあつるあさうす

月いほくそとるうす乃むらりあ

をさそとる月うきまきうすあ

まのあつるあつとるあつる月あ

月まきうすことあはけつる月

行脚

糸織

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

夜よぬそ今そと露ひ露か

宗碩

月より鐘とけら乃露のこころ

同

夜のころふよるはまもや朝すそ

同

あもやとら月乃あもつんま目くれ

同

つまぬの月とこまのあもつん

宗牧

心よこし月もらるけくこころ

同

空のころすそ夜乃あもつん

周桂

うそこし露とあもつん月乃あもつん

昌休

あもつん乃あもつんあもつん

同

うそこし露とあもつん月乃あもつん

同

拙子

夜のころあもつんあもつん

同

あもつん乃あもつんあもつん

同

ゆくら乃あもつん月乃あもつん

同

あもつん乃あもつんあもつん

同

けも月すそ吹いけらあもつん

同

おん露あもつんあもつん春月

月みそそあもつんあもつん

同

遊香

月とてさしの影に　影をまぼけし
 あまう月もあまう江のささのさ
 月とれいとうとあまうちたさるん式
 月と風とさしの影の　はうとまう那
 うもやま月とらうとらうととととと見
 ほそかんと神師らうととのま乃月
 月とらうあまうとまあうぬあまはま
 まのまはたあまうとあて月とあ

京養

心のもろうとさしとあまのあゝあ
 月とてさしの影に　影をまぼけし
 あまう月もあまう江のささのさ
 月とれいとうとあまうちたさるん式
 月と風とさしの影の　はうとまう那
 うもやま月とらうとらうととととと見
 ほそかんと神師らうととのま乃月
 月とらうあまうとまあうぬあまはま
 まのまはたあまうとあて月とあ

鑑巴

月か じつと ちかあ ちかあ ちかあ の月
 うと 種う 月と ねや 月の あり 海 毎
 ち 月う ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ の月
 月や ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 うす ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ

月か じつと ちかあ ちかあ ちかあ の月
 うと 種う 月と ねや 月の あり 海 毎
 ち 月う ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ の月
 月や ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 うす ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ
 ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ ちかあ

お六田

ま仍

あさあけ

あけのふしもうとじやふふまの月 日

松岡防範周

まのよや月のうらうらとれまら 日

春雨 六

^{竹林}あけのふしもうとじやふふまの月 日

^荒あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

^雲あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

あけのふしもうとじやふふまの月 日

泉あそつたふやあつりまらぬ
 日
 勢わらわの白たつしるれあえ
 日
 うらまへの衆のふとよふいふ
 日
 とも言ふの免りたも衆あつら
 日
 海も海らるまのほものこまら水
 日
 まあ乃あつくりまらぬ水さう那
 日
 うらまよあすやまの終ぬあつら
 日
 まあ乃とまはのまは乃若あつら
 日
 あつらりらるまらまやとりぬ
 昌也

志あまそよ神のまらりまらぬ
 心
 まあ乃とまはのまは乃若あつら
 玄
 おひらま
 ひく神のまらりまらぬ
 日

藤七

まあ乃とまはのまは乃若あつら
 宗
 まあ乃とまはのまは乃若あつら
 宗
 まあ乃とまはのまは乃若あつら
 宗

栴八

とあふとは... 栴の栴
ゆくや籠り... 栴
とるは... 栴
と急い... 栴
としくふ... 栴

栴栴
同
昌休
紹只
同

栴九

花... 心敬
月... 同
ち... 同
人... 同
心... 絳阿
心... 同
心... 智直
心... 同

心敬
同
同
同
絳阿
同
智直
同

新撰鬼三夫

世やぐとゆふ人のほそもふ那

出順

あさすも風よらふや花もあ

同

かまじ果るもあらいつらゆゆ

同

あまのねもさうらふ風

同

さねたりとたうもあふゆゆ

賢盛

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

行助

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

あまのねもさうらふ風

同

花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに
 花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに
 花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに
 花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに

花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに
 花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに
 花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに
 花のまゝに風を吹送るに
 一木をこゝにまゝにちりぬるに

まふまふ花をまきけりおく〜
 しるべもきりるけりけのり
 しるべもきりるけりけのり
 花をまきけりおく〜
 まふまふ花をまきけりおく〜
 しるべもきりるけりけのり
 しるべもきりるけりけのり
 花をまきけりおく〜

花をまきけりおく〜
 まふまふ花をまきけりおく〜
 しるべもきりるけりけのり
 しるべもきりるけりけのり
 花をまきけりおく〜

竹林三

春

月

あけぼのの光をみれば
ほろほろと涙もろ
をしのびけし恋の
心をばかしく
かきまへりやあはれ
の思ふはたしの
まはるるあはれ
をしのびけし恋の
心をばかしく
かきまへりやあはれ
の思ふはたしの
まはるるあはれ
をしのびけし恋の
心をばかしく
かきまへりやあはれ
の思ふはたしの
まはるるあはれ

竹林三夫

もよおし月あかりほく
くしあまのあま
目さゆ一記いそはく
のまはるるあはれ
あけぼのの光をみれば
ほろほろと涙もろ
をしのびけし恋の
心をばかしく
かきまへりやあはれ
の思ふはたしの
まはるるあはれ
をしのびけし恋の
心をばかしく
かきまへりやあはれ
の思ふはたしの
まはるるあはれ
をしのびけし恋の
心をばかしく
かきまへりやあはれ
の思ふはたしの
まはるるあはれ

竹林三夫

竹林三夫

らるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび

春とや一かさうらりゆは風はま
 るはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび
 らるはれき昔よとて風はか
 まるはよみ花よりや一む目うすび

うき世の世成るもくはるきもくれ
さうめりやうくあはれうもも
風もあはれうもあはれ花
さうてあはれうもあはれうも
ゆきうもあはれうもあはれ
さうてあはれうもあはれうも
ゆきうもあはれうもあはれ
さうてあはれうもあはれうも
ゆきうもあはれうもあはれ
さうてあはれうもあはれうも
ゆきうもあはれうもあはれ

同 同 同 同 同 同 宗 紙

よらまひひくはらうもあはれ
風あはれ世うもあはれうも
誰と世のまらうもあはれうも
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ
まらうもあはれうもあはれ

同 同 同 同 同 同 同 同

中の程とくはゆわさうりきり花
 花うりりくつゆあうねんあさあ
 あしあめと花きんりきり日ひ
 う先りてよまがうあめあめ
 あう人のうあるもむりあうけり
 いはあそとがんあそよむらあ
 あらあああああああああ
 らう人うりあうく花あうあ
 ゆりてあああああああああ

ああけああああああああ
 あああああああああああ
 うああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ
 あああああああああああ

春中

11

香印

いし

あらすしと花よはかゝるひのあは
 何事かの成はしあはるよと花よ
 花よあてきまきほりのあはす
 又やらん世うあはは由りみん
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと

花中しとあはるよはかゝるひのあは
 うれとあはるよとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと
 うはううと花よまきうーと
 世よはかゝるひとあはるよと
 あはあはるうーとあはるよと

香印

いし

蘇淨清光ちりての念

知や書くしらんららりさと物乃月
 物や心ほらわらり乃花さり
 ろくやろをさるやいほこらる盛
 花さりらる井みみあの中り
 しあらりらりまらじあらら神ほし
 意さりらり世らり部さ乃ひららら
 ばらり世らりらりらりのあらりぶ
 りいりらりらりらりらりらららるらるの念
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

ららあらららららやらららら非の色
 ろくかららららららららら花感
 らら中ららとをぬ人むららむらり
 花さりららららららららららら
 ろくさりらららららららららら風をわ
 ろくはらららららららららららら
 一と物乃らららららららららららら
 ららる人乃風らららららららららら
 ちげあらららららららららららららら
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

くら人と風をまらりたり花さり
 さぬまをくせやうしじは盡
 すしーちとささくはのたさり
 花さかんとくやき野も部人
 花さけともいささくあし
 りまはるもつかりいささく乃嵐
 いはるぬやいささくのささ
 りさほしめささくささくささ
 くらん入やささく一本の
 花さささくは乃みちやいもの
 りあよひささくささくのささ
 みのささくささくささくのささ
 りささくささくささくのささ
 ささくささくささくのささ
 りの乃おささくささくのささ
 せりささくささくささくのささ
 りささくささくささくのささ
 花ささくささくささくのささ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

くら人と風をまらりたり花さり
 さぬまをくせやうしじは盡
 すしーちとささくはのたさり
 花さかんとくやき野も部人
 花さけともいささくあし
 りまはるもつかりいささく乃嵐
 いはるぬやいささくのささ
 りさほしめささくささくささ
 くらん入やささくささく一本の
 花さささくは乃みちやいもの
 りあよひささくささくのささ
 みのささくささくささくのささ
 りささくささくささくのささ
 ささくささくささくのささ
 りの乃おささくささくのささ
 せりささくささくささくのささ
 りささくささくささくのささ
 花ささくささくささくのささ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

ありしはあはれなるをさるるは
 花よりあはれなるをさるるは
 あらとていふは せん花よりあはれ
 せうらあはれなるをさるるは
 なるしんはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありの海よりあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは

ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは
 ありしはあはれなるをさるるは

三何哉 乃乃人のまゝ

らうはくはく花そのあつたはくはく

花乃ららゆらうらうらあつたはく

浪う松のまじりあつたはく

あつたはく入つたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

うらうらも松の花のまゝあつたはく

花乃ゆらゆらうらうらあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

あつたはくあつたはくあつたはく

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

見る人今りめとまくる花の白ひか
花をみるらうとあるあつと本後成
とよおきゆらと記とあひ花のま
わもあやうとある花の綿うれ
何と花を記とうれ風をあ
とあひとあつとけうと記と成
拾ふとれを記とわうと人花の屋
らと記ととく花やと記とまうとのま
花を記ととらりしとあつととらりし

同 同 同 同 同 同 同 同

花を記とあつととらりしとらりし
とりとらりしは花とらりしと白ひか
花を記ととらりしとらりしと風をあ
何とらりしと花のまととと記ととらりし
らとらりしととらりしととらりしと風をあ
花を記ととらりしととらりしととらりしと花
うらとらりしととらりしととらりしととらりしと花
うらとらりしととらりしととらりしととらりしと花
うらとらりしととらりしととらりしととらりしと花
うらとらりしととらりしととらりしととらりしと花
うらとらりしととらりしととらりしととらりしと花

同 同 同 同 同 同 同 同

花のこころをふりかきしむるは

もくしきやうなほなほしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

かしのこころをふりかきしむるは

あまのこころをさしめしむるもあつた
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる

関の月よ

あまのこころをさしめしむるもあつた
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる
 花のうらみはなほさかすまはるる
 とまはるるおのころもさかすまはるる

○春中

ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら

○春中

ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら

○春中

○春中

花ゆりてあうり〜
 うらたつちもれ〜
 風もぬらうよの〜
 みら〜ふはひり〜
 らはら〜ぬき〜
 とらに〜は〜
 うら〜ふ〜
 あら〜ふ〜
 むら〜ひ〜
 日 日 日 日 日 日 日 日

海も〜あひ〜
 空も〜なる〜

花も〜松の〜
 うら〜も〜
 ら〜も〜
 ら〜も〜
 ら〜も〜
 ら〜も〜
 ら〜も〜

八幡宮に参りて〜

日 日 日 日 日 日 日 日

みくらうーむ花ののののののののの

回

おーののののののののののののの

回

お漢巻白

いけみーのののののののののののの

回

せー花ののののののののののののの

回

おのののの

うーののののののののののののの

回

藤原え

のののののののののののののの

回

のののののののののののののの

回

のののののののののののののの

回

のののののののののののののの

回

孫え

のののののののののののののの

回

帯根

のののののののののののののの

回

花のののののののののののののの

回

とととととととととととととととととと

回

情別光ゆる城を子向とす
つらつら

まじりまじりとも花のまじり
日

あやの平正頼城と

まじりまじりとも花のまじり
日

龍田社とそ百白りまじりまじり
日

まじりまじりとも花のまじり
日

花をまじりまじりまじりまじり
日

まじりまじりまじりまじりまじり
日

花をまじりまじりまじりまじり
日

まじりまじりまじりまじりまじり
日

花をまじりまじりまじりまじり
日

まじりまじりまじりまじりまじり
日

花をまじりまじりまじりまじり
日

まじりまじりまじりまじりまじり
日

花をまじりまじりまじりまじり
日

まじりまじりまじりまじりまじり
日

まじりまじりまじりまじり

あゝいかにあはれなるかな 〇
 しほふもよみよきかな 〇
 こころのこころをわすれぬ 〇
 げんがのこころをわすれぬ 〇
 うたはしのこころをわすれぬ 〇
 もとむこころをわすれぬ 〇
 うたはしのこころをわすれぬ 〇
 もとむこころをわすれぬ 〇
 うたはしのこころをわすれぬ 〇

あゝいかにあはれなるかな

あゝいかにあはれなるかな 〇
 しほふもよみよきかな 〇
 こころのこころをわすれぬ 〇
 げんがのこころをわすれぬ 〇
 うたはしのこころをわすれぬ 〇
 もとむこころをわすれぬ 〇
 うたはしのこころをわすれぬ 〇
 もとむこころをわすれぬ 〇
 うたはしのこころをわすれぬ 〇

同如如意亦承英傍却防まで
 ひとえなみきとらひこりま乃花 曰
 ちりりこも花と浮生乃まひひ 曰
 藤原正盛宅よりと

心めん何く一乃花の静しう静 曰
 まし母の花よふしむあ〜ハ 曰
 中より一よもふ物流流明のし 曰
 河邊なるあ〜てのさ〜 曰
 一もも〜あ〜さ〜ら〜ら〜れあ 曰

神影は海うてたつ河横田坊とこの念ふ
 捨くもろわ花きたれをい〜ら河川 曰

自他亦ふ我〜あ〜は念法師を〜念ふ
 念ふ念ふ〜い〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

よれ〜念ふ〜い〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 宗道法師も海うてたつ河横田の念ふ
 念ふ念ふ〜い〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 或人遊善名号ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ
あつらふねまゝに花のあつらひ

曰 兼哉

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ
あつらふねまゝに花のあつらひ

曰 宗長

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ
あつらふねまゝに花のあつらひ

曰 宗長

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

あつらふねまゝに花のあつらひ

曰

春申

廿七

花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは

花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは

夏

花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは
 花の香のたのしみは

春

廿七

まじりて花をばらけりては春の光
あもるる花のさかえと花盛

花盛遊書

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花盛遊書

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花のさかえと花盛

花盛遊書

花のさかえと花盛

ともやまとももまともな夕月
 ともくろり花やりもまのましの花
 ともり乃わら花やむきとく夕月すえ
 胡しとちりしつろそふま乃一まうが
 まくわめりわましし山溪の花の家
 花うらん一やまやま種乃らんうさひ
 かりい入あらんもまのまししひう飛
 うねも今こままもいそ乃まままな
 うへうあそしかりもまのままらな

まいんよひあまらんかまのまのま
 花とまのまらぬかやまらなれ
 うらあらんらんあまのままらな
 あれやまようつこまのまらな
 うららん花をわらまのまらな
 なまや花目を格あまらな
 ままららんやらんれまらな
 周桂あうてま向夕花
 夕のまらんまらな乃らな

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

ちくもちくこゝろのまふとく花の家
ききとらる花とさけよ乃重井ノ
花より月あめまゝれのおさ戸る
とあの色もどり乃重ゆじ夕々郎
重やとあさすあううつつ持あつる
重やとあわいあううのまゝり
花よふくうう重や重の心あう
ちくもちくこゝろのまふとく

園遊遊覧

くもちくやもむりさね乃神の鳥
花より月あめまゝれのおさ戸る
ちくもちくこゝろのまふとく
ちくもちくこゝろのまふとく
ちくもちくこゝろのまふとく
花のゆきもふさみ家持まう井
ちくもちくこゝろのまふとく
ちくもちくこゝろのまふとく
ちくもちくこゝろのまふとく
ちくもちくこゝろのまふとく
ちくもちくこゝろのまふとく

園遊

園遊

とあやふふ白ひは夕乃むとあや
曰

ととあやも花あふささうあめう那
曰

あやうもくもくわあも春末の月
曰

あやあさうもくもく今下り花あ
曰

あやうもくもくあう風もくも
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あやうもくもくあうあうあうあ
曰

あめは雲より吹あけぬ風乃よりひびき 昌休

山もくさきふらあせれうささりり 〇

とめてありし種のもいはく花の陰 〇

なごももまはらあね花もび 〇

花中一家の海くればやあやらひ 〇

うらんとおの今を急乃あしきまふ 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

夕月花の影をよまのるる影 〇

よほへる花びらりと花乃月のを
うもいほくたもさるのあくべ
うふ乃のうらうらきつらるる
曰 曰 曰

越前よりゆき乃時を無形

うらうらあつてもさる花のけ
ふも花ゆりともかあまのを
ちるふーむ乃さる風をあ
曰 曰 曰

き田坊府中しとしきくあふまふを

うらうらあつてもさる花のけ
曰

新地給庭のうらまは揚りてさるを無の

うらうらあつてもさる花のけ
曰

子白落花

花いほくつらうゆか乃さるはく
曰

永原子句

ささるてなるともさる花つらひ
曰

松を万白雨あふ

ささるてなるともさる花つらひ
曰

永原子句十花

如月うきまをさかして風をきり
同

鐘文と句乃乃よととさそか乃乃

う歌とけさいつまうされ乃乃の歌
同

周桂道善

あまほのやうはういぞく妻のむ
同

華唐舎 今清様いとさうの四か

さねとひて花よあつ乃乃ちえん
同

月次神よ

後を世よとわもろあけ乃乃家
同

清海周ぬお控歌乃月次一とよ

よる歌やとあもむ乃乃
同

他名

くねて月花をさかあつこいとあうか
同

独十句

こもあつくる中らういらん花乃色
同

同

花よふもひとまもあつる
同

あつるらんまひとちのほ乃花
家養

風や〜の花を〜に〜は〜の海
 木の枝〜の〜は〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 雨〜の〜の〜の〜の〜
 ま〜の〜の〜の〜の〜
 と〜は〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 風〜の〜の〜の〜の〜

回 回 回 回 回 回 回 回

う〜の〜の〜の〜の〜
 う〜の〜の〜の〜の〜
 雨〜の〜の〜の〜の〜
 風〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜
 と〜の〜の〜の〜の〜

回 回 回 回 回 回 回 回

春中

五

花よりを縁のうらうら
 うはし縁乃花をちらと世のさき
 うあもそのハまほろこふまあるま
 と記あてふく世とよそふらんれあ
 風あげを花をのなうねるもほし
 花よりあて花あまらうく外はうら
 あまほろこはあまのこひ花より
 心とをさうてふあうあまほろこ
 ちうとあまらうく月あまのうら
 花よりりあし彩よままらうれう
 さ記のこあ花よりちうとあまほろ
 高まらりあまらうらうて花よりほ
 ちうとあまらうく花よりちうとあま
 花より神のあまらうく世の花より
 ちうとあまらうくあまらうくあま
 けあまらうくあまらうくあまらう
 ちのあまらうくあまらうくあまら
 あまらうくあまらうくあまらうく

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

花よりりあし彩よままらうれう
 さ記のこあ花よりちうとあまほろ
 高まらりあまらうらうて花よりほ
 ちうとあまらうく花よりちうとあま
 花より神のあまらうく世の花より
 ちうとあまらうくあまらうくあま
 けあまらうくあまらうくあまらう
 ちのあまらうくあまらうくあまら
 あまらうくあまらうくあまらうく

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

花をらして昔よりじとれお白く
 とくそそとて花をまきくさるあつり成
 花をらして月を花を後の清あつる
 ここの紫のいろあつるけりたつる物
 ちとんちき花よりあつるあつる
 花よりよきとせとあつるの昔白く那
 昔花よりくくよあつるをれ乃あつる
 花くつるもあつるの花乃山あつる
 花をらして海をのみにらのちとん成

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

まつるもむじななる花の色まき
 花をらして昔よりまきつるやつり成
 花よりよきとせとあつるの昔白く那
 昔花よりくくよあつるをれ乃あつる
 花くつるもあつるの花乃山あつる
 花をらして海をのみにらのちとん成
 まつるもむじななる花の色まき
 花をらして昔よりまきつるやつり成
 花よりよきとせとあつるの昔白く那
 昔花よりくくよあつるをれ乃あつる
 花くつるもあつるの花乃山あつる
 花をらして海をのみにらのちとん成

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

あはれに云ふ事なほいとあはれ
にまはさるゝもさあはれに
まはるゝ月まのあはれに
まはるゝも月あはれもの
あはれにまはるゝ月あはれ
月あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ

同 同 同 同 同 同 同 同

あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ
あはれにまはるゝあはれ

同 同 同 同 同 同 同 同

春のついでにさくらあけのこもいり松の松
あけの松のあけのこいり花の庭
ついでにさくらあけのこもいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松

回 回 回 回 回 回 回 回 回 回

りあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松

回 回 回 回 回 回 回 回 回 回

大泉野生さくら

さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松
さくらあけのこいり松の松

回 回 回 回 回 回 回 回 回 回

山にささげききれおまもやた乃を
 とくをたんとそんたの吉おま
 籠いほこたあまのまわつ音乃
 ありあまれさうつりゆくたも
 ことあうとあれとたのいつ
 花よりあまれとあうく岩るれ
 ちいあまやちるゆくたのこる
 いあま乃そあまそるれさうり
 ぼ乃とあまうわたのあれか

同 同 同 同 同 同 同 同 同

絶えつりあもを給うるやうれ
 とくをたんとそんたの吉おま
 吹のりあ〜のた乃とる津川
 一ちりあまのあまもやたのいつ
 うあまもつたたもあまのいつ
 ま乃あまもとふ乃よあしやあ
 花をかけまも花さくあまのあ
 中一のあまもつたたくたのまら
 くらあまもつたたさくあまのあ

同 同 同 同 同 同 同 同 同

りねとそとらねとれれちもま乃花
さうねまもあらちも花のまこの庭
根よりみ花とれつらつ海とま
よめひきく山も花さく浦乃
世くみのみかかたつらんま
とねるまよ花さきさうん物
かうらまきとせくしつ花乃あら
とらね乃まよのこりしせと
花乃えのらつねらわな
同 同 同 同 同 同 同

うしとるそ一まつとらちるも
あけ嵐本へらねくちと花
人まらてらとあそあつ
朝霧のあこつとく花
まよまはのこくんな花のま
らちるまよあけ嵐とあつ
とく人のうちつあつとま
ちるまよ乃海とそとつ
まつとあつとつとちつと
同 同 同 同 同 同 同

ちるるまのまはなりのころをもうか
 花乃ころ花をちりむらむあうま
 るる花をいころるま乃一樹の華
 一花よりゆりしむらあ、本まうか
 花をまきもやあうりく本自然
 ころるままゆころらか乃下まか
 ころるま乃ゆりむらころ花のを
 花のまよゆりしかくさあうら風
 ちりそむらまきそむらなれまうまら

の海ありのころるまはなりのまら
 花乃ころまゆくころ風乃柳うら
 ちりまう一花乃まうらぬ風をうか
 うらまはなりのまらころら花乃ま
 ころ一まらころら人の南海うか
 花をまきまうらあまもそむ白れ
 ころらあままら花のまらむらら
 ころらあままら花をら風をな
 ころらあままら花をら風をな

た〜あ〜いからふ〜き〜も〜た〜ら〜ら
〜〜の〜も〜ら〜ら〜め〜ら〜ら〜み〜み
甲〜向〜と〜あ〜り〜よ〜も〜め〜ら〜ら〜ら〜れ
ま〜あ〜て〜さ〜ら〜ま〜す〜れ〜ら〜ら〜ら〜ら
月〜の〜照〜え〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
花〜と〜と〜は〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
さ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
花〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

回 回 回 回 回 回 回 回 回

う〜は〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
お〜も〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
松〜風〜乃〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
花〜乃〜枝〜の〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
次〜く〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
う〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

回 回 回 回 回 回 回 回 回

春丙

春丁

まけくたつものゝめと世のまのむ
 ちまうりーも物そいあころ花のま
 くれよそりらの糸乃らぬのけか
 花のまよひーのこはれまうん
 ちやーむいふなれそのもろま
 物おのしよまもまぬかあろ
 くらー根も来くた乃ま来
 よーもろ花のこいろうん
 けいかなうていけああかんた
 同 同 同 同 同 同 同 同

花ふらねと花もあーじま
 けとけうむらうりまを
 さうりーまぬまーま花乃枝
 ちまうりー花乃あろま
 ちる花乃まをこまをま
 まらめ目まをま花乃あろ
 ちまうりまのらも花のま
 まんーま花乃ま
 まらりあまなまのま
 同 同 同 同 同 同 同 同

春の初めも昔のうらやまのふれね
 うき世にさかぬやうな花の種
 染めしものもくさくせん花もあ
 らぬよしのあつきのあつきのあ
 花の香も南の風のあつきのあ
 花のくさくさしたるものあつきのあ
 とらぬものもあつきのあつきのあ
 めのくさくさしたるものあつきのあ
 花のくさくさしたるものあつきのあ

花のくさくさしたるものあつきのあ
 はあつきのあつきのあつきのあ
 うき世にさかぬやうな花の種
 染めしものもくさくせん花もあ
 らぬよしのあつきのあつきのあ
 花の香も南の風のあつきのあ
 花のくさくさしたるものあつきのあ
 うき世にさかぬやうな花の種
 染めしものもくさくせん花もあ
 らぬよしのあつきのあつきのあ
 花の香も南の風のあつきのあ
 花のくさくさしたるものあつきのあ

あはれとくもせむはなまらむとみ
同

新巻

花は先うはなとやうり乃まふ那
同

昌体道者子句

あはれ花乃こもあはれこのまらふ
同

ありくもあはれは花のうらなあ
同

ふらふと一あはれうらなまらふ
同

もあはれやこもあはれ乃まらふ
同

二月十五日

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

易者無乃

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

あはれはくもあはれよりくも乃花
同

返答

花をちらり人々の世の持久之部
人言さきやうく人言花乃ま

結中源氏竟宴の舞行

ありとなく花やうくはくこの中
りうもやうくさうく花の露

おと清換

うーやうく地続とくさく花のま
くねるおもわりあつたのころれあ

ふ乃ともあまのころあつたさうり
あうねる心成かたをめてく中一まのむ

吾好まあ

みうー乃やうくねと花かたね部人

ちうきあて

けうき門花のさうねてあまの

言を風ともあうらなやうい部

花をねしてまよなれりうま

もるらうていDanceらうま

あふ所をあらうるまふりたの海 日

遊書

花のまじりけも程とありけ 日

防劬とて饑別のけり

ちまうりあまや風うね世の花うり 日

お角田川

まうりいさかきふんせうふいさかき 日

